

## 令和4年度 地域未来塾 活動事例一覧

市町名	教室数	教室名	対象学校名	主な実施場所	委託	委託団体名
彦根市	20	水曜放課後学習会	東中学校	東中学校	○	東中学校区 支援地域協議会
		さわやま教室	佐和山小学校	佐和山小学校	○	
		くろがねもち教室	城東小学校	城東小学校	○	
		学力補充教室	西中学校	西中学校	○	西中学校区 支援地域協議会
		放課後バックアップ教室	城西小学校	城西小学校	○	
		夏休みきらり学習教室	城北小学校	城北小学校	○	
		土曜日曜教室・てみる	中央中学校	中央中学校	○	中央中学校区 支援地域協議会
		学び育ちLL教室	中央中学校	中地区公民館	○	
		水曜ゼミ	南中学校	南中学校	○	南中学校区 支援地域協議会
		がってん教室	城南小学校	城南小学校	○	
		夏休み学習教室	亀山小学校	亀山小学校	○	
		彦根中地域未来塾	彦根中学校	彦根中学校	○	彦根中学校区 支援地域協議会
		5年生学習支援教室	河瀬小学校	河瀬小学校	○	
		学力向上教室	高宮小学校	高宮小学校	○	
		学力補充教室	鳥居本中学校	鳥居本中学校	○	鳥居本中学校区 支援地域協議会
		夏休み国語算数教室	鳥居本小学校	鳥居本小学校	○	
		地域未来塾	稲枝中学校	稲枝中学校	○	稲枝中学校区 支援地域協議会
		かがやき教室	稲枝東小学校	稲枝東小学校	○	
ホップタイム	稲枝西小学校	稲枝西小学校	○			
ぐんぐんクラブ	稲枝北小学校	稲枝北小学校	○			
湖南市	4	放課後質問教室	石部中学校	石部中学校		
		放課後学習会	甲西中学校	甲西中学校		
		地域みらい塾	甲西北中学校	菩提寺まちづくりセンター 岩根まちづくりセンター		
		日枝中未来塾 日本語教室学習会、3年生放課後学習会	日枝中学校	日枝中学校		
米原市	5	はびろ学習会	柏原中学校	柏原中学校		
		いつ今教室	大東中学校	大東中学校		
		放課後&夏休み全校学習課	伊吹山中学校	伊吹山中学校		
		米原学習室 (MGK)	米原中学校	米原中学校		
		土曜パチスタ	河南中学校	河南中学校		
日野町	2	ちょこっと学習会	日野中学校	日野中学校		
		立ち寄り学習処 ちょき		日野町少年センター		
竜王町	1	土曜龍王塾 (雲竜塾、昇竜塾)	竜王中学校	竜王中学校		
多賀町	1	土曜講座 (サタスタ)	多賀中学校	多賀中学校	○	(株) TOMONI

## あたたかい地域の大人との関係の中で、安心して学習に取り組める場づくり

彦根市	活動名 : 水曜放課後学習会	東中学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 図書室		開始年度: 平成26年度	
年間開催日数: 28日 (開催ペース: 週・1日)		地域学校協働活動推進員等数: 2人 (兼務2人)	
平均参加人数: 11人		学習支援員等 平均人数: 4.5人	
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室の持ち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性: <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

放課後の時間を利用して、生徒たちが自主的に学習できる場を提供。基礎・基本でつまづいている生徒には、学習支援ボランティアが寄り添い学力を向上させる。生徒たちが地域の人とつながる場をつくる。

### ■ 特徴的な学習支援内容

学習教科は自由。生徒が主体的に決めたことをやり遂げられる支援を心がけている。

### ■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)

「東中学校区地域学校協働本部」が主体となり、学校と相談しながら開催。1学期は3年生の低学力の生徒を中心に、2学期からは、2・3年生の希望する生徒を受け入れ、生徒の自主性を尊重して運営。生徒個別の学習ファイルを作成し、学習終了後に、学習の振り返りを記入する時間をとり、ボランティアとの交流に活用。コロナ感染予防のため、生徒・ボランティアともにマスクの着用を徹底し、座席の取り方、換気などに配慮。

### ■ 事業の成果

生徒とボランティアとの関係はよく、生徒は積極的に質問しながら学習を進めている。複雑な家庭環境の生徒が、ボランティアに悩みを打ち明けたり、他愛もないおしゃべりをしたりする中で、元気を取り戻す場にもなっている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

実施時間に会議が重なるなど、多忙な教員に意識をもって関わってもらうことは難しく、「協働」の形の再検討が必要。学力や家庭環境など、本当に支援が必要な生徒が参加しやすいように、担任をはじめ教職員と連携し、情報共有していきたい。

報告書記入者 (地域コーディネーター)



【学習会の様子】

## 個に応じた学習支援 ～わかる楽しさを感じて楽しく学ぶ場づくりを～

彦根市	活動名 : さわやま教室	佐和山小学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 彦根市立佐和山小学校		開始年度: 令和3年度	
年間開催日数: 20日 (開催ペース: 月3~4日)		地域学校協働活動推進員等数: 2人 (兼務2人)	
平均参加人数: 13人		学習支援員等 平均人数: 6人	
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室の持ち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性: <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

### ■ 活動の概要と目的

佐和山小学校高学年児童で、主に算数科で学年相当の学習にしんどさが見られる児童を対象に、学力の向上を目指して学力補充をしている。

### ■ 特徴的な学習支援内容

学校 (担任や担当教員) と連携を取り、児童一人一人の学習課題を把握し、学習計画を立てる。学年別に担当する学習支援員を大まかに決めて、できるだけ同じ支援員が指導・支援にあたることで子どもたちが安心して聞ける関係づくりに努めた。少人数での学習形態で一人一人の弱みを補充するため、子どもたちも達成感が得やすく、わかることが意欲につながり楽しく学習に取り組んでいる。また、終盤20分程度は、宿題に取り組む時間とし、今学習している内容についてもつまづき等の支援にあたっている。予習も視野に入れて宿題指導をしているため、授業に対する意欲や理解を深めることにつながっている。

### ■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)

児童も学習支援者も、検温等で体調管理は当然のこと、教室への出入り時には必ず消毒を義務付けている。また、一人分の学習スペースを十分に確保するよう子どもたちにも声をかけている。

### ■ 事業の成果

昨年度申し込んで学習への理解の深まりと楽しさを実感した児童が、今年度も申し込み、積極的に学習に取り組んでいる。「わかる」ことの楽しさが日々の授業への意欲にもつながっている。また、少人数で自分のペースに応じた学習ができるよさを体験し、コツコツと学習を積み上げられることを子ども自身が感じて前向きに学習に取り組んでいる。

### ■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

学習支援員の人材確保が難しい。昨年度からの継続で確保できているところはあるが、少人数での個別支援という学習形態を続けていくためにも、安定した人数の保障についてより良い手立てを模索していく必要がある。

報告書記入者 (地域学校協働本部担当)



【学習指導の様子】

## 個に応じた支援で、やる気アップ！学力アップ！

彦根市	活動名：くろがねもち教室	城東小学校 学校運営協議会：□有 ■無
主な活動場所：学校（各教室） 年間開催日数：3日（開催ペース：夏季休業中） 平均参加人数：25人／1日 ・学習形態：■個別の学力補充 □教材を使った一斉学習 □その他（ ） ・教室の持ち方：□平日放課後実施 □土曜日実施 ■長期休業日実施 □その他（ ） ・学習支援員の属性：□企業関係者 □行政職員 ■元教職員 □地域住民 □大学生 □NPO等関係者 ■その他		開始年度：令和4年度 地域学校協働活動推進員等数：2人（兼務2人） 学習支援員等 平均人数：4人／1日

### ■ 活動の概要と目的

- ・3年生以上を対象とし、国語、算数の基礎的・基本的な学習内容の定着を目指す。
- ・夏季休業終盤の3日間、8：30～10：00に実施。

### ■ 特徴的な学習支援内容

- ・1学期の学習状況を参考に、個々の課題に応じた問題等を準備し、取り組む。
- ・各学年3人体制で指導に当たり、それぞれの困り感に寄り添った個別の指導・支援を基本とする。

### ■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・1学期末個別懇談会で保護者に案内する。
- ・友達同士で話をしたりせず、自分の課題に集中して取り組むようにする。

### ■ 事業の成果

- ・2学期開始直前に設定したことで、夏季休業中の課題について質問をするなど、子ども自身が課題意識をもって参加することができた。また、8：30開始としたことにより、生活リズムを整えるきっかけになった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

- ・下校時の見守り等への協力もいただければ、参加する児童・保護者ともさらに安心感をもてるのではないかと考える。



【一人一人がめあてをもって取り組む】

報告書記入者（地域連携担当教員）

## 「あなたの未来のために学力向上をめざしませんか？」 来たれ！ 未来塾

彦根市	活動名：学力補充教室	西中学校 学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：理科室、被服室 年間開催日数：30日（開催ペース：5月～2月 週1回） 平均参加人数：19人 ・学習形態：■個別の学力補充 □教材を使った一斉学習 □その他（ ） ・教室の持ち方：■平日放課後実施 □土曜日実施 □長期休業日実施 □その他（ ） ・学習支援員の属性：□企業関係者 □行政職員 ■元教職員 ■地域住民 ■大学生 □NPO等関係者 □その他		開始年度：平成26年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 学習支援員等 平均人数：8人

### ■ 活動の概要と目的

- ・学力補充を目的とした学習教室を開催した。放課後や夏季休業中の時間を活用して学習支援員が個別の学習指導を行った。

### ■ 特徴的な学習支援内容

- ・元教職員の学習支援員を多く動員し、豊富な経験と高い指導力を生かして生徒の学力向上を図った。
- ・各自が学習課題を自身で準備することで、生徒の目的意識を明確にした。

### ■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・全学年を対象にして、自主的に取り組める希望者を募り実施した。
- ・夏季休業中は、各学年の学力補充教室と連携して実施した。
- ・コーディネーターを2人体制にして、2会場で学習会を実施し、蜜を避け集中して学習ができる対策を行った。
- ・学習支援員の検温と健康チェック、手指消毒を学習会の開始前に実施した。

### ■ 事業の成果

- ・個に応じた学習支援が実施でき、学習意欲の向上が図れた。
- ・地域の方や大学生との交流が深まった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

- ・学習支援員の高齢化が進み、人材を確保することが難しくなりつつある。また、高齢の方を学習支援員に動員することで感染症による健康面について心配される。

### ■ その他

- ・特別な支援を必要とする生徒への個別の学習支援を高めていく学習会の体制を検討する必要がある。



【放課後学習教室】

報告書記入者（教頭）

基礎・基本の定着をねらいとした学習支援

彦根市	活動名 : 放課後バックアップ教室	城西小学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 教室 年間開催日数: 16日 (開催ペース: 週1日) 平均参加人数: 15人 ・学習形態 : <input type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室の持ち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性: <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度: 平成24年度 地域学校協働活動推進員等数: 2人 学習支援員等 平均人数: 3人	

- 活動の概要と目的
  - ・算数科を中心に基礎・基本の定着に向け、個別指導を主とした教室を4～6年生の希望者を対象に年間16回開催した。
- 特徴的な学習支援内容
  - ・プリントやドリルの内容を基本とし、個別指導を主とした学習支援を行っている。
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)
  - ・下校時、保護者が確実に迎えに来られることを確認し、迎えが可能な児童のみ参加できることとした。
- 事業の成果
  - ・児童に個別に対応することができるため、その児童が持つ困り感に寄り添い、理解を深めることができた。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
  - ・より充実した指導となるよう、多くの学習支援員の確保が急務となる。



【 6年生のバックアップ教室 】

報告書記入者 ( 教頭 )

夏休みきらり学習教室 ～個別指導による学力補充学習～

彦根市	活動名 : 夏休みきらり学習教室	城北小学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 教室 年間開催日数: 3日 (開催ペース: 年3日) 平均参加人数: 60人 ・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室の持ち方 : <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性: <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度: 平成26年度 地域学校協働活動推進員等数: 1人 学習支援員等 平均人数: 4人	

- 活動の概要と目的
  - ・実施日時: 夏季休業中の3日間 (7月21日 (木) 22日 (金) 25日 (月))、いずれも8:30から10:00まで
  - ・目的: 算数科を中心とした、個別の学力補充
- 特徴的な学習支援内容
  - ・算数科に絞り、個々の児童の苦手とする課題や児童が高めたいと考える内容について、補充指導や問題演習を行った。
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)
  - ・担任より個別指導が望ましいと考える児童の参加を中心とした。
  - ・感染防止対策として、健康状態の確認、マスクの着用、入退室時の手指消毒、換気を行い、自教室の自席での学習とした。
- 事業の成果
  - ・地域の方々の協力のおかげで個別対応が可能となり、つまづきを的確に把握し、スモールステップできめ細かに支援することができた。本学習を通して、子どもたちは「分かった!」「できた!」という思いを実感し、学習への意欲を高めることができた。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
  - ・さらに充実した指導となるよう、学習支援員の確保に努めていきたい。



【 個別指導の様子 】

報告書記入者 ( 教頭 )



来てみる・やってみる 「土曜日曜教室・てみる」

<b>彦根市</b>	活動名：土曜日曜教室・てみる	中央中学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：理科室 年間開催日数：10日（開催ペース：月2日） 平均参加人数：15人		開始年度：平成26年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 学習支援員等 平均人数：8人
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・学習支援員等の属性： <input checked="" type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

子ども達への学習補助はもちろん学習支援員等との対話を通じて、学びへの動機付けや将来なりたい姿を見つけることをねらいとしている。

■ 特徴的な学習支援内容

1対1または子ども2人に指導者1人とし、学習支援員やボランティアとの関係づくりを大切に、学習の動機付けとなるように、子どものやる気を尊重した学びの場をつくっている。2時間程度の学習であるが、学習の休憩時間を交流の時間として設定し、支援員と子どもたちとの交流の機会を設けている。支援員やボランティアとの対話や学習後の交流を楽しみにしている子どもも多い。毎回のしめくくりの時間に子どもに活動の振り返りをさせて、ここでの学びが他の活動に広がることも期待している。



【1対1を基本として実施】

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

全校生徒に案内を配布し、希望を募っている。部活動や各種検定の時間と重ならないように配慮して行っている。感染予防対策として健康確認と入退室時の手指消毒を行い、マスクをつけて学習するようにしている。毎回、実施後に地域コーディネーターが中心となり学習支援員、学校関係者で集約会議を行い、子どもの関わり方の質の向上につなげている。

■ 事業の成果

個別指導により、つまづきを的確に把握しながら学習支援を行い、基礎学力の定着を図ることができている。また、週末に学習に集中し充実した時間を過ごすことができることから、学習意欲の向上や学習方法の定着にもつながっている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

活動推進員や学習支援員の確保、企画・運営ができるコーディネーター確保が必須である。

報告書記入者（ 教頭 ）

子どもの自主的な学びと育ちを支える地域の居場所づくり

<b>彦根市</b>	活動名：学び育ちLL教室	中央中学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：中地区公民館 年間開催日数：44日（開催ペース：週1日、月4回） 平均参加人数：14人		開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 学習支援員等 平均人数：10人
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・学習支援員等の属性： <input checked="" type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input checked="" type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

毎週月曜日の夜に地域の公民館にて開催。自主的な学びへの動機付けや将来なりたい姿を見つけることをねらいとしている。学習の補充を行い、自信をもたせる。

■ 特徴的な学習支援内容

マンツーマン対応で学習支援員やボランティアとの関係づくりを大切に、子どものやる気を尊重した学びの場をつくっている。固定した時間割は定めず、子どもの状況に応じて、人間関係づくりの向上を目指して、交流を目的とした活動を取り入れている。



【 LL教室の様子 】

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

中央中学校の土曜教室てみると同時期に全校生徒に案内を配布。また、活動状況はフェイスブックページを設けて活動について発信していることから、近隣学区の子どもたちの参加もある。感染予防対策として健康確認と入退室時の手指消毒を行い、マスクを着用して学習し、教室内では対面を避け隣の席から学習を見守れるようにしている。

■ 事業の成果

子ども個人のモチベーションにあわせた学習を進めることで主体的に取り組む習慣ができてきている。また不登校傾向や特別支援の配慮を要する子どもも参加し、気分転換や自分を見つめる時間になり、地域での居場所づくりになっている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

ボランティアの確保や数年ごとの教科書変更に対応した教材整備と教材の保管場所確保が課題である。

報告書記入者（ 教頭 ）

## 放課後学習「水曜ゼミ」

彦根市	活動名：南中学校区地域学校協働本部 「水曜ゼミ」	南中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：南中学校 年間開催日数：12日（開催ペース：週1日） 平均参加人数：15人		開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） 学習支援員等 平均人数：3人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

- 活動の概要と目的
 

○放課後学習「水曜ゼミ」（11～2月）は、3年生を対象に進路実現に向けて基礎的な学力を身につけるために、プリントを使って学習している。基本週に1回のペースとしているが、今年度は昨年度同様12月に集中講座として4日間連続で開催した。

○未来塾事業を活用した夏休み補充教室は、今年度も実施していない。
- 特徴的な学習支援内容
 

学習支援員は、教員や地域の住民、近隣に在籍している大学生が中心となり、個別の学習支援にあたっている。水曜ゼミの学習教材としては、県立入試問題集や国語・数学・英語の基本的な内容プリントを準備して、個に応じた学習に取り組めるようにしている。
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
 

水曜ゼミは受験を控えた3年生で、特に基礎学力の強化が必要と思われる生徒を対象に実施している。コーディネーターが活動を紹介したボランティア便りを作成し学習支援員の確保にあたっている。
- 事業の成果
 

家庭では一人で学習できない生徒の学習の場となり、学習支援員に積極的に質問するなど意欲的に取り組んでいる。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
 

参加生徒に対して学習支援員の人数が少ない日もあり、安定した人材確保が必要である。校区にある大学と連携して学習支援員が確保できる体制にしていきたい。また生徒用タブレット端末の活用についても検討を進めていきたい。

報告書記入者（ 教 頭 ）

## 「わかった」「できた」子供の笑顔のために

彦根市	活動名：がってん教室	城南小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：各教室 年間開催日数：3日 平均参加人数：100人		開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 学習支援員等 平均人数：3人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

- 活動の概要と目的
 

夏季休業中の午前3日間を設定し、1学期の学習内容を中心とした学力補充を行う。
- 特徴的な学習支援内容
 

夏季休業中の課題や児童自身が付けたいと考える力にあった学習など、個々に選択できるようにする。また、学年によっては、演習を中心とする「どんどんコース」、参加児童同士で話し合ったり教え合ったりできる「じっくりコース」など、学び方を選ぶことができる。
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
 

開催要項は全家庭に配布するとともに、目的や取り組み方等を担任より児童へ説明する。強制はしないが、1学期末の個別懇談会で、個別に参加を促すこともある。実施場所が密にならないようにした。
- 事業の成果
 

学習に自信がもてなかったり、夏季休業中、どのように学習や課題を進めたらよいか不安に思ったりする児童の支援の場となった。小集団での学習や個別に質問ができる環境で、安心して学びに向かうことができたと思う。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
 

参加児童の実態や人数によっては、十分対応できない日もあった。支援員の増員の検討をしていく必要がある。



【 がってん教室での児童の様子 】

報告書記入者（ 地域連携担当 主幹教諭 ）

**夏休み学習教室 ～基礎・基本の学力の定着を目指して～**

彦根市	活動名 : 夏休み学習教室	亀山小学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 亀山小学校教室 年間開催日数: 3日 平均参加人数: 80人 ・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室の持ち方 : <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性: <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度: 令和2年度 地域学校協働活動推進員等数: 1人 学習支援員等 平均人数: 6人	

- 活動の概要と目的
  - ・夏季休業中の3日間(7月21日・22日・25日)、いずれも9:00から10:30まで実施した。
  - ・基礎・基本の学力の定着を目的としている。
- 特徴的な学習支援内容
  - ・基礎・基本の内容に特化した内容の補充指導や問題演習を行う。間違いやつまずきには個別に対応できるようにし、子どもが理解できるよう支援した。
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫(コロナ禍における工夫・対応等)
  - ・1学期末の個別懇談会の機会に、学習教室に参加させたい児童(基礎・基本の定着が十分でないと思われる児童)の保護者に趣旨や方法を説明し、理解を得るようにした。
  - ・教室の消毒や換気、室内温度をこまめに確認し、感染症の拡大防止に努めた。
- 事業の成果
  - ・それぞれの教室に担任以外の教員(支援員)がいることで、個別指導をしたり、プリントの採点をしたりして、効果的に学習を進めることができた。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
  - ・「基礎・基本の定着が十分でない児童に個別に指導する」という趣旨を保護者に理解していただき、昨年度より参加人数を絞ることで、よりきめ細かな支援ができた。今後も同様の規模で学習教室を実施していきたい。



【 夏休み学習教室の様子 】

報告書記入者 ( 教 頭 )

**学びを育む学習会**

彦根市	活動名 : 彦根中地域未来塾	彦根中学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 被覆室 年間開催日数: 39日(開催ペース: 週2日) 平均参加人数: 16人 ・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室の持ち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性: <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		開始年度: 平成29年度 地域学校協働活動推進員等数: 0人 学習支援員等 平均人数: 3人	

- 活動の概要と目的
  - ・毎日の授業だけでは十分に学力が定着しない生徒も多く、何を学習してよいのかわからない生徒も多数いる。そこで、地域の方々と大学生等の協力を得て、一人ひとりの学力に応じた学習を個別の対応で進め、学習習慣と学力の定着を図る。
- 特徴的な学習支援内容
  - ・夏季休業中の補充学習および質問教室では、全学年で、生徒の自主学習に対する支援を、学習支援員と教員が行っている。
  - ・3年生の放課後学習会では、10月から毎週火曜・木曜を基本にして、生徒が持参する学習教材や、基礎定着プリントに対する支援を、学習支援員と教員が行っている。
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫(コロナ禍における工夫・対応等)
  - ・マスクの着用と使用する教室には消毒液の設置と使用後の消毒作業を実施している。
- 事業の成果
  - ・学習支援員に積極的に質問するなど、短時間ではあるが学習にまじめに、意欲的に取り組んでいた。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
  - ・学校の立地条件から、学生の学習支援員が集まらず、確保が難しい現状にある。
- その他
  - ・活動状況は、本校HPにて掲載している。<https://www.fureai-cloud.jp/hikone-jh-hikone/>



【 3年放課後学習会 】

報告書記入者 ( 教 頭 )



## 5年生 算数科学習支援教室

彦根市	活動名 : 5年生学習支援教室	河瀬小学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所 : 5年生教室 年間開催日数 : 15日 (開催ペース : 週5日) 平均参加人数 : 30人 ・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (プリント等採点) ・教室の持ち方 : <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (休み時間) ・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度 : 平成23年度 地域学校協働活動推進員等数 : 2人 学習支援員等 平均人数 : 1人	

■ 活動の概要と目的

- ・5年生算数科の学習支援を行い基礎学力の定着を図る。

■ 特徴的な学習支援内容

- ・個別の学習支援 ・プリントを採点する。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)

- ・本校に教育実習に来た本校卒業生の大学生に声をかけ、学習支援を依頼した。
- ・5年生の学習進度に合わせて支援をしてもらった。2学期末は、既習学習の復習を中心に支援をしていただき、3学期は、面積の学習に特化してクラスごとに支援をしていただいた。



【復習プリントをチェックしてもらう児童】

■ 事業の成果

- ・従来は、休み時間を利用して担当が1人で復習や定着度合いを見取っていたが、2人体制で指導することで短期間に効率的に指導することができた。
- ・児童も担任以外の先生に教えてもらえるということで、意欲的に取り組み、定着を図ることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

- ・本来ならば、夏休み学習補充教室を実施予定であったが、今年度もコロナ禍の影響で補充教室は中止となった。ただ昨年度実施した、2年生の九九マスター教室で子どもたちも意欲的に取り組めた姿があったので、今年度は、5年生の算数科の学習支援を計画し実施した。
- ・今後も、学習補充教室以外にも、学年・教科・活動を特化して、学習支援をしていただく機会を模索していきたい。

報告書記入者 (地域連携担当者)

## 地域と共に育てる子どもの学ぶ力

彦根市	活動名 : 学力向上教室	高宮小学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所 : 教室 年間開催日数 : 2日 (夏季休業中) 平均参加人数 : 60人 ・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室の持ち方 : <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度 : 令和3年度 地域学校協働活動推進員等数 : 2人 (兼務2人) 学習支援員等 平均人数 : 4人	

■ 活動の概要と目的

- ・基礎学力の定着及び学力のさらなる向上を図る。
- ・学習習慣の定着とともに、学習に自主的、意欲的に取り組もうとする態度を養う。

■ 特徴的な学習支援内容

- ・国語と算数を中心に補充学習を進める。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)

- ・コロナ禍のため、密を避け、前半後半の2つのグループ制にした。前半は、基本コースとし、授業の復習や夏休みの宿題に取り組んだ。後半の応用コースでは、ガッテンプリントなどの発展問題に取り組んだ。

■ 事業の成果

- ・少人数の学習の機会としたことで、個々の学力に応じた支援ができた。また、学習支援員を地域住民から募ったことにより、地域未来塾だけでなく、ほかの学習にも協力をいただけるようになり、継続して子どもたちの学力支援をいただくことができた。



【学力向上教室】

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

- ・学習支援員の確保に努めていきたい。

報告書記入者 (地域連携担当教職員)





## 生徒の自主性を尊重し、リラックスして学習に取り組める場

彦根市	活動名 : 地域未来塾	稲枝中学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所 : 3年教室、図書室、大会議室 年間開催日数 : 28日 (開催ペース : 週1回・月4日) 平均参加人数 : 20人 ・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室の持ち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (三者懇談会時) ・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度 : 平成28年度 地域学校協働活動推進員等数 : 2人 学習支援員等平均人数 : 4人	

- 活動の概要と目的
  - ・自ら学ぼうと意欲のある生徒への学習支援を行い、学力向上を図る。
- 特徴的な学習支援内容
  - ・7月、夏休み、2月までの毎水曜日、保護者懇談会の期間に→3年生を対象に定期考査や高校入試に向けた学習支援
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)
  - ・生徒の募集→3年生の生徒及び保護者に、質問教室の趣旨を説明して募集  
3年生対象の高校入試に向けた質問教室は、希望者はもとより、学習塾に通っていない生徒や受験対策を必要とする生徒に勧める。
  - ・コロナ対策→当初の応募希望者が多く、普通教室を二部屋で実施したり、図書室や大会議室を利用して、密にならないように席を取って実施してきた。
- 事業の成果
  - ・参加者が、質問教室に「来てよかった、わかった」と感じている。
  - ・個別に丁寧に指導してもらい「わかった」という思いを持ち、自信を深めることにつながった。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
  - ・地域未来塾の講師の発掘が大変である。
  - ・学校と地域コーディネーターの打合せが重要となる。
- その他



【 質問教室の様子 】

報告書記入者 ( 地域コーディネーター )

## 子どもたちの学びを豊かにする地域支援活動「かがやき教室」

彦根市	活動名 : かがやき教室	稲枝東小学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所 : 音楽室 年間開催日数 : 15日 (開催ペース : 月3日) 平均参加人数 : 18人 ・学習形態 : <input type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input checked="" type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室の持ち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度 : 平成30年度 地域学校協働活動推進員等数 : 6人 (兼務1人) 学習支援員等平均人数 : 5人	

- 活動の概要と目的
  - ・4・5年生の児童を対象に、6月より月に3回程度の学力補充の時間を計画した。
- 特徴的な学習支援内容
  - ・事前に児童がつまづきを感じている学習内容を何種類か選び、プリントを作成する。児童は、自分の課題に合った学習内容を進め、学習支援員は児童の困り感や質問に応じて、個別の学習支援を行った。
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)
  - ・5月に年間を通して受講できる希望者を募った。さらに、担任より個別指導が望ましいと考える児童に参加を促した。
  - ・児童がつまづきやすい学習内容 (概数、小数のわり算、割合など) を中心に、プリントを作成している。
- 事業の成果
  - ・算数科の基礎的な学習内容を復習することで、児童の学力向上につながっている。また、たくさん問題を解くことを通して、「できるようになった」と自信をもたせることができた。
  - ・学習を通して、児童と地域の方が交流することができた。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
  - ・今後も取組を継続するにあたり、学習支援員さんの人材確保が心配である。
  - ・教員が時間をかけて、学習教材を準備している点は課題である。



【 学習支援の様子 】

報告書記入者 ( 地域連携担当教員 )

**わくわく はえみ学習**

彦根市	活動名 : ホップタイム	稲枝西小学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所 : 各教室、図書室、音楽室 年間開催日数 : 12日 (開催ペース : 月1日) 平均参加人数 : 21人 ・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室のもち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度 : 令和2年度 地域学校協働活動推進員等数 : 0人 学習支援員等 平均人数 : 4人	

- 活動の概要と目的
  - ・ 確かな学力の定着と苦手な学習内容の復習
- 特徴的な学習支援内容
  - ・ 一つの学級を2グループに分け、各グループに2名の指導者を配置した。課題は、学習内容に合わせて難易度を分けて用意した。
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)
  - ・ 下校時の安全面の配慮から、基本的に全員参加としている。1クラス10~13名の人数で、十分に間隔を空けて学習できるようにしている。
- 事業の成果
  - ・ 普段の学習よりも子どもの人数は少なく、指導者の数は多いため困っている子どもに対して、十分に関わることができた。また、子ども同士で教え合ったり、励まし合ったりする場面も見られ、難しい問題でも自分の力で最後まで取り組もうとする粘り強さが育ってきている。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
  - ・ 指導して下さる方と学校、また担任との日程調整や内容確認を早めに行うことで、学習プリントの準備等、計画的に行う。



【 ホップタイム 】

報告書記入者 ( 地域連携担当職員 )

**基礎的・基本的な学力の定着を目指して ~「できる・分かる」喜びを~**

彦根市	活動名 : ぐんぐんクラブ	稲枝北小学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所 : 2年教室・4年教室 年間開催日数 : 50日 (開催ペース : 週2日) 平均参加人数 : 5人 ・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室のもち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度 : 平成27年度 地域学校協働活動推進員等数 : 1人 学習支援員等 平均人数 : 2人	

- 活動の概要と目的
  - ・ 少人数による個別指導を実施することにより、基礎的・基本的な学力の定着を目指す。また、児童に「できる・分かる」喜びを味わわせる。
- 特徴的な学習支援内容
  - ・ 課業日の月曜日 (1~3年) 水曜日 (4~6年)、学期ごとに参加児童を募集し定員を8名程度までとして学習支援ボランティアによる指導を行う。算数科を中心に宿題をしたり個に応じた課題 (プリント等) を準備して実施したりし個別の進度で学習を進める。
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)
  - ・ 全校児童に募集をし、希望者の中から個別指導を要する児童が参加できるようにしている。希望者が多数の場合は、支援を必要とする児童に絞り、4~7名という少人数で実施している。感染症対策として、常時換気・マスク着用・密にならないような座席配置に留意している。
- 事業の成果
  - ・ 学習に苦手意識のある児童にとって、分からないことをその場ですぐに聞いたり、やり直したりできることで、「できる・分かる」という実感をもちやすい。また、個別に苦手な分野に絞って復習等に取り組むことで理解が進み、児童の学習意欲も高まった。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
  - ・ 今年度、昨年度指導にあたっていただいた学習支援ボランティアのお一人が、都合によりぐんぐんクラブの指導ができなくなった。地域学校協働活動推進員のご尽力で代わりの方を何とか探していただいた。学習支援ボランティアの確保も課題の一つになっている。また、学習支援者と担任との打合せを充実させるなど連携を一層、密にしていく必要性を感じている。



【ぐんぐんクラブでの学習の様子】

報告書記入者 ( 教頭 )



## 学習習慣の定着を目指すための放課後学習

<b>湖南省</b>	活動名： <b>放課後質問教室</b>	<b>石部中学校</b>	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：普通教室 年間開催日数：75日（開催ペース：週2～3日） 平均参加人数：15人		開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員数：1人 学習支援員等 平均人数：3人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input checked="" type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他			

- 活動の概要と目的
  - ・家庭での学習がうまく進まない生徒に放課後の教室を使い、予習や復習をすることで学習習慣の定着をめざす。
  - ・今年度は、2年生で平日放課後にテーマ別学習会を開催した。（教員と学習支援員で開催）

- 特徴的な学習支援内容
  - ・定期テストに向けて、学習でのわからないことを教える。
  - ・学校の宿題のわからないところを支援する。
  - ・実技教科の遅れている作業を援助する。
  - ・テストのポイントとなる部分を再度講座として開設する。（テーマ別学習会）



【 2年テーマ別学習会 社会 】

- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
  - ・手洗い、検温、マスク着用など基本的な感染症対策実施
- 事業の成果
  - ・家庭での学習習慣をつけるために効果があったと考えられる。
  - ・意欲的に学習に取り組む姿が多く見られた。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
  - ・支援する人材の確保
  - ・冬季は、6時間授業を行うとほとんど放課後の時間がない。部活動との兼ね合いが難しい。
  - ・学年が上がるにつれ、学習内容が難しく専門の教科以外は教えることが難しい面もある。
  - ・定期テスト前に生徒の需要が集中しがちである。

- その他
  - ・2年のテーマ別学習会では、教室定員を上回る希望者が殺到するなどの嬉しい誤算もあった。

報告書記入者（ 校長 ）

## やる気をサポート！ ～生徒たちの未来づくり・夢づくり～

<b>湖南省</b>	活動名： <b>放課後学習会</b>	<b>甲西中学校</b>	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：第2理科室 年間開催日数：25日（開催ペース：週1日） 平均参加人数：15人		開始年度：平成26年度 地域学校協働活動推進員等数：3人 学習支援員等 平均人数：4人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input checked="" type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

- 活動の概要と目的
 

本校の生徒の課題として、家庭学習がほとんどできていないことが挙げられる。家庭での学習環境が整っていないことも考えられるが学習方法がわからないことも要因である。そこで、地域の方や大学生などに学習ボランティアとして支援していただき、自主的・主体的な学習習慣を身につけるため、学習会を8月から放課後に週1回1時間実施している。

- 特徴的な学習支援内容
  - 毎回5教科のプリントを使用して学習に取り組んだ。3年生については過去の入試問題にチャレンジした。



【 放課後学習会 】

- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
  - 参加者が多い時には図書室など広い会場を使用して密にならないようにした。常に換気のため窓を開け、学習会前後にはアルコールでの手指消毒を徹底した。
- 事業の成果
  - その場だけでなく家に持ち帰って学習の続きをするなど、家庭での学習習慣につながっている。継続して参加する生徒が増えてきている。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
  - 学力に課題やしんどさのある生徒にもっと参加してもらいたい。そういった生徒には個別に声かけを行う。

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員・教頭 ）

## 生徒の家庭学習をみまもります ～地域で支える地域の子ども～

湖南省	活動名：地域みらい塾	甲西北中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：菩提寺まちづくりセンター・岩根まちづくりセンター		開始年度：令和3年度	
年間開催日数：30日（開催ペース：月2回）		地域学校協働活動推進員等数：4人（兼務4人）	
平均参加人数：各会場10人		学習支援員等 平均人数：2人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input checked="" type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

- 活動の概要と目的
  - ・学習の場の提供
- 特徴的な学習支援内容
  - ・学習の進み具合をみながら、希望に応じ個別に支援
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
  - ・事前申込み無しでの自由な参加とし、時間内であればいつ来てもいつ帰ってもOK。校内にポスターの掲示、チラシの配布、メール配信システムを使って開催のお知らせをしている。
- 事業の成果
  - ・さまざまな理由で自宅では自主学習しづらい生徒が、落ち着いた雰囲気の中で集中して学習に取り組んでいる。生徒同士が教え合い学んでいる時もある。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
  - ・家庭環境などさまざまな事情で学習が遅れがちな、本当に必要な生徒に対して支援ができていないのではないかと。
- その他
  - ・今年度より、開催会場が2会場に増えたが、学習支援等への謝金の補助が前年度と同じなので、限界を感じている。



【夏休みに岩根まちづくりセンターにて】

報告書記入者（ 地域コーディネーター ）

## 輝く明日を築く生徒の育成を目指して ～日枝中未来塾～ 外国籍生徒日本語教室学習会・3年進路支援

湖南省	活動名：日枝中未来塾 ～日本語教室学習会、3年生放課後学習会～	日枝中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：日本語教室		開始年度：平成29年度	
年間開催日数：22日（3年生進路支援は週1）		地域学校協働活動推進員等数：3人（兼務3人）	
平均参加人数：15人		学習支援員等 平均人数：4人	
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

- 活動の概要と目的
  - ・学力保障や学校生活安定のために、支援が必要な生徒に対して、学習支援員や本校卒業の先輩大学生の支援のもと学習会を実施する。
- 特徴的な学習支援内容
  - ・外国籍生徒への「やさしい日本語」での対応を通じて生徒たちへの学習支援を行い、生活の安定と進路支援を目指している。
- 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
  - ・基本的には希望参加であるが、三者懇談会や教育相談を通して、生徒の状況を把握して、参加を勧める。
- 事業の成果
  - ・個別に丁寧な支援を行うことによって、基礎学力の定着、生徒の学習意欲の向上や、進路に対する前向きな姿勢が見られる。
- 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて
  - ・毎年の取組によって、一定の参加者があり学習会として成果をあげている。
  - ・長期休業中に定期的実施するために指導者の安定的な確保が必要。
- その他
  - ・タブレットの翻訳機能、ポケトークなどの機器を充実させて支援を充実させる。



【日本語教室学習会】

報告書記入者（ 学校支援員、教頭 ）

## 自分でつかむ自分の未来「はびろ学習会」

米原市	活動名 : はびろ学習会	柏原中学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所 : 柏原中学校図書室 年間開催日数 : 2日 平均参加人数 : 18人 ・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室の持ち方 : <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度 : 令和4年度 地域学校協働活動推進員等数 : 3人 (兼務3人) 学習支援員等 平均人数 : 2人	

■ 活動の概要と目的

- ・長期休業中に自宅での学習に取り組むことが難しい生徒への学習支援
- ・学習習慣の定着と自学自習ができる力を付けるきっかけとする

■ 特徴的な学習支援内容

- ・参加者各自が教材を準備し、自分のペースで自主的に進めることを基本とした。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)

- ・初年度ということもあり、校長が各教室に向いて事業の目的や方法を説明し、希望者を募った。図書室で行い、机1台に2人までの利用として密にならないようにした。また、自分の都合に合わせた時間に参加してもよいとし、学習会に参加しやすいようにした。

■ 事業の成果

- ・予想したより多くの生徒が参加した。基本的には全員黙々と取り組み、質問のある生徒は積極的に質問する姿を見せた。自学自習の習慣を付けさせるきっかけとなった。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

- ・まずは、支援者の確保が難しい。CS委員とも連携しながら探していきたい。次に、部活動との兼ね合いが難しい。学習習慣をつけさせることが目的でもあるので、他の長期休業日やテスト前の土日にも実施していけるよう検討していきたい。



【 はびろ学習会の様子 】

報告書記入者 ( 校長 )

## 学力補充「いつやるの、今でしょう！」教室

米原市	活動名 : いつ今教室	大東中学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所 : 会議室、図書室ほか 年間開催日数 : 30日 平均参加人数 : 10~30人 ・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室の持ち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		開始年度 : 平成25年度 地域学校協働活動推進員等数 : 1人 学習支援員等 平均人数 : 4人	

■ 活動の概要と目的

- ・概要 定期テスト前や長期休業中、また、3年生入試前の時期に学力補充やテスト対策を実施する。
- ・目的 低学力生徒の基礎学力定着と向上  
自宅での学習に取り組むことが難しい生徒への支援  
希望進路の実現に向けた個々の弱点補強や支援

■ 特徴的な学習支援内容

- ・参加希望者を募って実施
- ・課題プリントを作成し、参加生徒の学力レベルに応じた指導
- ・各生徒の疑問や質問に個別に対応

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)

- ・各テスト前や長期休業前に参加募集の案内を作成しての呼びかけ

■ 事業の成果

- ・生徒からは「丁寧に教えてもらえるのでわかりやすい」という感想が多い。
- ・保護者からの事業継続実施を望む声が多い。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

- ・学習支援員の一定数の確保や日程調整、開講日数増加の検討



【 2学期期末テスト前 】

報告書記入者 ( 教頭 )



## 放課後学習会 & 夏休み全校学習会

米原市	活動名：放課後&夏休み全校学習会	伊吹山中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：本校ランチルーム 他 年間開催日数：放課後13日 夏休み4日 平均参加人数：50人 ・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		開始年度：令和元年度 地域学校協働活動推進員数：0人 学習支援員等 平均人数：5人

### ■ 活動の概要と目的

定期テスト前の放課後や長期休業中を利用して、生徒一人ひとりが、自分の習熟度や自分のペースに応じて学習を進めることで、基礎的・基本的な知識を習得する。さらに、授業で学んだ内容や課題にじっくり取り組み、個別に質問できる場として開催した。

### ■ 特徴的な学習支援内容

複数の学習支援員が生徒の要望に応じて支援できる体制をとることができるようにした。

### ■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

学習内容や課題等は、各生徒が自分で予定を立てて準備し、自由に質問ができるような形態をとっており、多くの生徒が参加を希望し、学習を進めることができています。

部活動に配慮して、長期休業中は、部活動のない午後に行い、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施した。

### ■ 事業の成果

長期休業中や、部活動停止期間となる定期テスト前に実施したことで、生徒にとっては充実した学習習慣を継続させることができた。また、自分の習熟度に応じて各教科の学習を進めることができるため、目標が立てやすく、十分に理解できるまで学習に取り組むことができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

生徒のニーズに応じるようにするため、学習支援員の確保に努め、今後も個別の学習指導・支援ができる体制づくりを進めていく必要がある。



【 放課後学習会 】

報告書記入者（ 教頭 ）

## 地域の力を活用し、人との関わり、自分を磨く子どもの育成をめざす

米原市	活動名：米原学習教室（MGK）	米原中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：米原中学校 年間開催日数：70日（8月1週目5日間、10月以降月平均10日開講） 平均参加人数：20人 ・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input checked="" type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員数：2人 学習支援員等 平均人数：1～2人

### ■ 活動の概要と目的

・コロナ禍の中、学習面で不安を抱える生徒も多い中、長期休業中に低学力の生徒を中心に学習支援を行った。3年生は2学期から放課後の時間を活用し、3教科(国語・数学・英語)の講座を開催した。

・英語検定講座は専門の講師を迎え、3級4級の2講座を7回開催した。

・3学期は入試の小論文講座を1月に4回開催した。

### ■ 特徴的な学習支援内容

・今年度は、8月の第1週に1～3年の全学年、生徒が課題を持参し、元教員と地域ボランティアが個別指導を行った。3年生は11月より入試に向けた3教科の講座を開講した。1月には入試の小論文対策として元国語教員が指導にあたった。

### ■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・全保護者あてに、案内を出した。課題の多い生徒は担任から直接声をかけた。

・夏季学習について、3年生を中心に1、2年にも拡大して質問教室を実施できた。

### ■ 事業の成果

・一人では課題に取りくめない生徒も、課題を提出することができた。3年生については講座を選択することにより、苦手教科の克服につながった。また、入試を意識した学習を2学期から行うことができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

・教員の働き方改革の視点からも本事業は有用であるが教員OB等講師の確保が難しい。

・朝の始業前の時間にも補習・質問教室ができるといいがこれも講師の確保が難しい。



【 MGKの様子 】

報告書記入者（ 教頭 ）

## 笑顔いっぱい・学びいっぱい活動 ～自ら学ぼうとする生徒への学習機会の場の設定～

米原市	活動名 : 土曜バチスタ	河南中学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 多目的教室 年間開催日数: 15日 (開催ペース: 月2日) 平均参加人数: 8.8人 ・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室の持ち方 : <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性: <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度: 平成29年度 (今年から活動名変更) 地域学校協働活動推進員等数: 0人 学習支援員等 平均人数: 2人	

### ■ 活動の概要と目的

月2回土曜日の午前中に開催し、自主的に学ぼうとする生徒のために、その場を提供して、生徒の学びの基礎を育成する。

### ■ 特徴的な学習支援内容

本校を卒業した大学生を講師に招き、自主的に学習を進めるうえで、わからないところをすぐに質問できる体制を構築した。

### ■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)

保護者宛の文書や学校通信によって周知した。9:00から12:00の間の都合のつく時間帯で参加可能にした。

### ■ 事業の成果

家庭ではなかなか集中できない生徒も、土曜学習会に参加することで黙々と取り組む雰囲気の中、わりと集中して学習に取り組んでいた。わからないところなどは講師の大学生に質問でき、理解を深めることができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

講師の大学生の都合もあるため、開催日を事前に決定することに苦慮した。定期テスト前など多くの生徒が参加する傾向があり、今後も学習する場の提供は必要と強く感じた。

### ■ その他

前日に、昇降口に案内をたて、メール配信で開講予定を事前に周知した。



【 土曜バチスタの様子 】

報告書記入者 ( 校長 )

## 気軽に訪ね、気軽に学ぼう、ちょこっと学習会

日野町	活動名 : ちょこっと学習会	日野中学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 図書室 年間開催日数: 9日 (開催ペース: 定期テスト前2回) 平均参加人数: 40人 ・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室の持ち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性: <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度: 平成30年度 地域学校協働活動推進員等数: 1人 学習支援員等 平均人数: 6人	

### ■ 活動の概要と目的

一人では学習に向き合えない生徒や、日頃は質問などがしにくい生徒にとって学びの場となることを目的として、学習支援員の支援のもと学習会を実施している。

### ■ 特徴的な学習支援内容

本年度は、参加者増を考慮テスト前に実施することにした。全学年を対象にしたことと、支援員を経験豊富な元教職員と本校卒業の大学生にお願いすることで、生徒にとって、より質問しやすく、また身近に感じられる学習会になったと考える。

### ■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)

全校生徒に参加者募集のチラシを配った。また、朝の会や帰りの会を利用して、担任より、期日の連絡と、積極的な参加を促してもらった。

### ■ 事業の成果

家庭では、なかなか学習に取り組めない生徒も、集中して学習に取り組めた。また、学習支援員に分からないことを質問することで、理解を深めることができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

普段から学習に向き合えない生徒の参加は少ない。来年度は曜日と参加者を固定して、補充教室的に行うことも取り入れたい。



【 学習の様子 】

報告書記入者 ( 教 頭 )

## 一緒に勉強してスッキリさせましょう！ ちょっと ききたい ちよき

日野町	活動名：立ち寄り学習処 ちよき	日野中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：日野町少年センター 年間開催日数：60日（開催ペース：週1～2日） 平均参加人数：5人 ・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・学習支援員の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度：令和3年度 地域学校協働活動推進員数：0人 学習支援員等 平均人数：4人	

### ■ 活動の概要と目的

家庭学習の習慣が十分でない生徒が、学校帰りに気軽に立ち寄り、日常の中学校の学習で十分理解できなかったところを、大学生や教員経験者の指導を受けて学習する場所を提供し、基礎学力や学習意欲の向上を図った。

### ■ 特徴的な学習支援内容

昨年度の反省を生かし、今年度から全学年を対象とし、学習支援員は大学生や教員経験者を配置し、できるだけ気楽に質問・学習ができるように努めた。

また、基礎学力の不足した生徒や家庭学習の習慣のない生徒に対しては、できるだけ個別指導で細部まで指導できるよう配慮した。

### ■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

参加者の募集については中学校と連携し、全校生徒に二度チラシを配布し募集した。また、部活動や学校行事との調整を行いながらより参加しやすくするように努めた。

### ■ 事業の成果

日頃の学習で理解できていないところを学びなおすことができ、また学習習慣が定着していない生徒にとっては決められた時間に学習できる機会となり、参加者は満足していたようである。

### ■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

学年によって参加人数に差異がある。また、学校でも同様の学習支援活動が開催されているが、そこの住み分けと同時に、学校に登校しづらい生徒や、学校の活動には参加しづらい生徒への呼びかけをどうするかが課題である。



【 活動の様子 】

報告書記入者（学習支援コーディネーター）

## 土曜龍王塾～「望み高かれ！」輝く未来に向け“志高く生きていく生徒の育成”を目指して～

竜王町	活動名：土曜龍王塾（雲竜塾・昇竜塾）	竜王中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：竜王中学校 年間開催日数：土曜日 6回 平均参加人数：土曜日 35人 ・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input checked="" type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・学習支援員の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：0人 学習支援員等 平均人数：15人	

### ■ 活動の概要と目的

竜王中学校OB・OGを中心とした大学生や教員OBなど、地域住民から幅広く協力を得て、中学校3年生を対象に秋以降の土曜日に学習を一層深めたい子どもたちの学ぶ機会として、また、家庭学習の習慣が十分に身につけていない子どもたちへの学習支援の場の創出として事業を実施する。

### ■ 特徴的な学習支援内容

雲竜塾（発展的な学習・特色選抜入試対策）と昇竜塾（基礎的基本的学力の定着）の2つのコースを設け、生徒のニーズに合わせ、子どもたちの主体的な学習を支援する内容としている。

### ■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

昨年度に引き続き、検温・消毒を実施し、教室（会場）を分けて実施した。

### ■ 事業の成果

受講生も多く、学習支援に貢献するとともに、大学生や教員OBなどの地域住民が講師として協力し、学校と地域が連携・協働する場となっている。また、参加した受講生は希望校に進学する割合が高くなっている。

### ■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

今後、受講生が増えた場合、教材や謝礼などの経費をどう捻出するか、また、継続可能な指導者の確保をどうするかが課題である。



【 土曜龍王塾の様子 】

報告書記入者（生涯学習課 生涯学習係 主査）



## 中学生の学力向上を図る土曜講座の取組 ～ 教育委員会・学校・塾等の連携 ～

多賀町	活動名 : 土曜講座 (サタスタ)	多賀中学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所 : 多賀中学校 年間開催日数 : 17日 (開催ペース : 月3日) 平均参加人数 : 30人 ・学習形態 : <input type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input checked="" type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・教室の持ち方 : <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		開始年度 : 平成21年度 地域学校協働活動推進員等数 : 1人 学習支援員等 平均人数 : 4人	

### ■ 活動の概要と目的

中学生の学力向上を目的として、土曜日の午前中、多賀中学校を会場として希望生徒に対して、塾講師の指導による学力講座を開講している。

### ■ 特徴的な学習支援内容

提携塾に講師派遣を依頼し、学年別に国語・数学・英語の3教科の学習講座を開講。大学生ボランティアも加わり、丁寧な学習支援を行っている。中学校とも連携し、年間指導計画に沿った学習内容となるようにしている。

### ■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)

中学校の各学級で生徒・保護者へ案内文書を渡してもらい、中学校と連携して募集。コロナ感染防止のため、中学校に会場変更し、換気・消毒など感染対策の徹底を図っている。

### ■ 事業の成果

「安価で学習をする機会が得られ、土曜日の規則的な生活リズムが確立できる。」と好評である。また、学校と連携した指導と効果的な個別支援により、学習に自信をつけた生徒も多い。

### ■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

奨学金受給者・大学生中心に広く募集を呼びかけることで、学習ボランティアへの参加者数を拡大し、より充実した個別の学習支援が図られるようにする。



【 土曜講座風景 (3年生) 】

報告書記入者 ( 町担当者 )